

備前市スポーツ振興基本計画(案)に対する意見募集結果の公表について

備前市スポーツ振興基本計画(案)に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と備前市教育委員会の考え方は下記のとおりです。  
ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

意見募集期間 平成 23 年 4 月 1 日(金)～平成 23 年 5 月 2 日(月)

意見募集結果 18 件 (1名)

意見等の要旨	教育委員会の考え方
<p><b>全体を通して</b></p> <p>・今後 10 年間で、誰に、何を、どうして、どのようにするのか、具体的な中身はどのようになっていますか。</p> <p>・学校開放事業も市のスポーツ振興の大きな事業だと思いますが、具体的な内容がどこにも記載されていません。</p>	<p>今回のスポーツ振興施策は、「人との出会いや交流、ふれあいを楽しむためのスポーツ活動」、「心身の健全な発達と体力の維持、向上を目指したスポーツ活動」、「自らの力に応じて挑戦するためのスポーツ活動」の 3 本の柱でスポーツ活動を推進することを計画に掲げています。</p> <p>まず、「人との出会いや交流、ふれあいを楽しむためのスポーツ活動」の具体的な方策としては、新たなプログラム開発に努めることと、生涯スポーツの推進のために市民、関係組織、行政の協働によるまちづくりに貢献すること、優れた指導者の確保、育成に努めることを考えます。</p> <p>次に「心身の健全な発達と体力の維持、向上を目指したスポーツ活動」の具体的な方策としては、世代を幼児期、青少年期、壮年期、中年期、高齢期で分けて啓発と推進に努めることを考えます。</p> <p>「自らの力に応じて挑戦するためのスポーツ活動」の具体的な方策としては、競技力の向上及び競技人口の拡充と、支援、競技団体と地域、学校等との連携、指導者の育成、確保とスポーツイベントなどに必要なスポーツボランティアの発掘に努めることを考えます。</p> <p>ご指摘のとおり、学校体育施設開放事業は、地域のスポーツ振興に大きく貢献しているので、実施している対象施設と実績を記載します。</p>

### 備前市のスポーツの現状と課題

・「体育協会専門部は、自主運営を行う団体が増加し、各種競技団体で大会や審判講習会も開催しております。」となっていますが、体育協会専門部と各種競技団体とはどのように違うのですか。同じであるならばどちらかに合わせた方がいいのではないのでしょうか。

また、「自主運営を行う団体が増加し～」となっていますが以前より減っていると思います。

### 第1章 スポーツ振興基本計画策定に向けて

#### II 計画の概要と位置付け

・平成12年に国が、平成16年に県がそれぞれ作られ、それを基に作っていますが、なぜ今なのですか。

・「備前市総合計画には、生涯スポーツを実現するためには、総合型地域スポーツクラブの設立・育成を図ることが重要です。」となっていますが、「ここでは成人の週1回以上のスポーツ実施率を早期に50%以上とする目標とし」となっているが、いつ、総合型地域スポーツクラブの設立・育成を図ることが重要から成人の週1回以上のスポーツ実施率を早期に50%以上とするに変わったのですか。

体育協会専門部と各種競技団体は、全く同じではありません。専門部は、体育協会の中のそれぞれ種目別の専門部で、各種競技団体は、その中でさらに細かく分かれた団体です。

しかし、審判講習会などは、専門部で行っていますが、各種競技団体では行っていないので、大会や審判講習会の要項などに記載していた種競技団体の文字は削除します。

また、体育協会事務局が直接専門部の事務局や会計、事業企画を行う専門部もありましたが、自主運営ができるようになった団体もあり、以前より多少ですが自主運営を行う団体は増加しています。

スポーツ振興基本計画は、旧備前市において平成8年に策定し、10年を経過したところで1市2町が合併しました。それに伴って、それぞれの旧市町のスポーツ関係の団体も、約3年をかけて合併しました。

現在、それぞれの組織も整い、今後10年の計画を立てる必要性が生じたので、今回作成します。

総合型地域スポーツクラブは、平成20年3月に2つのクラブが設立し、すでに自主的に活動を行っています。

その他に設立・育成の段階のクラブはなく、また、現在のクラブは、市のスポーツ振興、生涯スポーツの推進に大きく貢献しているので、総合型地域スポーツクラブの設立、育成は明記していません。

### Ⅲ 計画策定の基本的な視点

#### 1. 計画の性格

・「備前市総合計画」及び“健康びぜん21”との関連を重視し」となっていて、備前市総合計画の中に「総合型地域スポーツクラブの設立・育成を図ることが重要です。」となっていますが、計画に出てくるのは、現在の2クラブを支援するとなっているだけで、関連を重視しているとは思えません。

#### 2. 計画の期間

・10年間の期間ならば、2～3年ごとの事業推進を具体的に明記した方がいいのではないですか。

・スポーツ振興施策とは、基本的施策のことですか。また、スポーツ環境を取り巻く諸事情の変化とはどのようなことが考えられますか。

## 第2章 地域文化とひとが輝くまちづくりのために

### I 人との出会いや交流、ふれあいを楽しむためのスポーツ活動

#### 2. 「協働によるまちづくり」に向けて

市長の施政方針の中に「協働のまちづくり」とありますが、内容が全く違うのに同じように「協働によるまちづくり」をここにあげるのは違和感がないですか。

・スポーツを積極的に取り入れる市民が増えると、どうして豊かな地域づくりに繋がるのですか。

備前市の総合型地域スポーツクラブは、備前市総合計画策定の段階ではまだ設立していませんでしたが、現在は2クラブが設立し、自主的な活動を行っています。

また、総合型地域スポーツクラブは、クラブが独自で事業実施しているので、市の支援が必要な場合は協働して行うことを考えます。

事業推進については、具体的には、1年ごとに基本計画に沿って立てる教育重点目標により推進していくことを考えます。

スポーツ振興施策とは、基本的施策のことです。

また、スポーツ環境を取り巻く諸事情の変化とは、国、県で新しい計画が策定されて市の計画の見直しが必要となった場合、又は10年以内に成人の50%以上が週1回のスポーツ実施率が達成した場合を考えます。

「協働によるまちづくり」は、スポーツの分野においてもスポーツを通じた人との出会いや交流、ふれあいによって推進を図れるものであり、違和感はないと考えます。

市民が、スポーツを積極的に取り入れることで、スポーツを通して地域間、地域内での連携、交流が生じ、地域に活気生まれ、豊かな地域づくりに繋がると考えます。

<p>・行政の支援がないスポーツクラブや総合型地域スポーツクラブはどのように協働にかかわっていけばいいのでしょうか。</p> <p><b>Ⅲ 自らの力に応じて挑戦するためのスポーツ活動</b></p> <p>・チームワークの強化や協力体制の充実が、なぜ、まちに活力を与えるのですか。</p> <p><b>第3章 今後の推進方策</b></p> <p><b>I 人との出会いや交流、ふれあいを楽しむためのスポーツ活動</b></p> <p>(4) 人材の育成・確保と活用</p> <p>スポーツボランティア確保のために、なぜ技術指導だけでなく、知識面、精神面や安全管理にも優れた熱意のある指導者の確保、養成が必要なのですか。</p> <p><b>Ⅱ 心身の健全な発達と体力の維持・向上を目指したスポーツ活動</b></p> <p>(1) 啓発と推進</p> <p>青少年期のジュニア世代から勝負に固執しないようなことが実際できるのですか。なぜそうしなければならないのですか。仮にそうするのであれば、指導者に対してすべきではないのでしょうか。</p>	<p>スポーツクラブや総合型地域スポーツクラブは、クラブが独自で事業実施しているので、市は、その事業に対してできる部分について支援を行い、また市主催の事業への参加、協力を得ながら協働し、スポーツを通して豊かな地域づくりを行うことを考えます。</p> <p>スポーツを通して、選手間、参加者間のチームワークは強化され、協力体制は充実すると考えます。</p> <p>まちでイベントなどを実施する際、チームワークのある団体が参加することによって、そのイベントには活気が生まれ、まちに活力が与えられると考えます。</p> <p>スポーツボランティアは、大会運営やサポート、指導など、様々なかかわり方があるため、優れた熱意のある指導者を確保し、養成していく必要があると考えます。</p> <p>選手は、青少年期のジュニア世代という成長期において勝負に固執しすぎると、過度な運動を行って故障することがあります。</p> <p>この時期は、スポーツを楽しみながらきっかけづくりをする大事な時期でもありますので、過度な運動を行って故障しないように指導者を対象とした研修会を開催する必要があると考えます。</p>
---	---

<p>(2) 組織の整備と充実</p> <p>健康・保健分野とも連携した体制の整備充実は具体的にどのようにするのですか。また、ここでの各種団体はどの団体を指しているのですか。</p> <p><b>Ⅲ 自らの力に応じて挑戦するためのスポーツ活動</b></p> <p>(1) 啓発と推進</p> <p>幼児期から高齢者までとし、一気に全国大会の誘致に飛ぶのは内容が違いすぎませんか。</p> <p>(2) 組織の整備と充実</p> <p>なぜ、競技団体と地域・学校との連携を図る必要があるのですか。そうであるならば、それを明記すべきではないですか、誰が図るのですか。</p> <p>(4) 人材の育成・確保と活用</p> <p>競技団体をより活発化するための、指導者の養成・確保するようになっていますが、ハイレベルな指導者を養成するということですか。そうであるならば、理由を明記すべきではないですか。</p>	<p>市は、競技力の向上ばかりでなく、健康や保健分野も視野に入れた研修会を開催するなど、心身ともに健康に活動できるような体制を整備することを考えます。</p> <p>また、各種団体とは、体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、その他のスポーツ団体すべてを指します。</p> <p>市は、幼児期から高齢者まで自らの力に応じて挑戦をする方策として、継続してスポーツに取り組むことができる環境を整備することを考えます。</p> <p>また、全国大会などのレベルの高い大会を備前市で実施することで、選手が、大会に出場していなくても役員やボランティアに参加することで、競技がより身近で実感できる機会となり、競技力のアップに繋がってくると考えます。</p> <p>競技団体と地域、学校との連携を図ることで、スポーツを通じた出会い、交流が生じ、地域に活気が生まれ、豊かな地域づくりに繋がってくると考えます。</p> <p>それを誰が図るかということについては、体育協会やスポーツ少年団などの会議で協議していく必要があると考えます。</p> <p>競技団体は、指導者によってレベルや活動内容が左右されます。市は、指導者研修会などを開催して、ハイレベルな指導者を養成するためではなく、競技団体をより活発化するために指導者の養成をする必要があると考えます。</p>
---	--